

MOIS の皆さん、おはようございます！ 臨時休校 6 日目を迎えました。長引く自宅学習の生活に、少しずつストレスがたまっていませんか？ あるいは逆に、自宅学習の生活に慣れてきて、つい気持ちがゆるみがちになってはいませんか？

昨日は Classi の不正アクセスに伴うパスワード変更についてお話ししました。もう皆さん、パスワードを変更しましたか？ 私も変更しましたが、アクセスが集中してしまっていたのでしょうか、ログインするのさえ、とても時間が掛かってしまいました。

昨日は変更をあきらめてしまった人も、今日、またチャレンジしてください。

さて、昨日は一つ明るいトピックを見つけました。高知県立高知国際中学校・高等学校の取組です。テレビ高知からのニュース配信では、次のような記事でした。

高知県内では高知市など 18 市町村で小中学校、高校などが休校しています。そんな中、家庭で過ごす児童生徒に学びの機会を提供・確保する手段として期待が寄せられているのが「遠隔授業」です。すでに導入している学校では生徒たちが自ら学ぶ姿が見られました。

高知市の高知国際中学校では新型コロナウイルスの影響で休校になったことを受け、ビデオ会議アプリ「Zoom」を使った遠隔授業を行っています。きょうは 2 年生を対象に 10 人 1 組に分けて理科の授業が行われていました。教諭が生徒に課題を出すと、生徒から教諭に、また生徒同士で質問や意見が飛びます。「1 つ分からないことがあって。」「フレアが入っているのがよく分からない。」「プロミネンスとかは大丈夫？」「自信はないけど多分。」

学校によりますとこのアプリを使って、授業以外でも生徒同士が課題について話し合うなど自主的に学んでいるということです。さらに、遠隔授業ならではのメリットも。

「いつもは教室だとみんなが集まっているいろんな声や音で集中できなかつたりするけど、1 人っていうパーソナルスペースがあってしっかり学習に向き合えている生徒が多いと感じています。」(担当教諭)

高知国際中学校で遠隔授業がスムーズに行われている背景には、元々、授業にタブレット端末を導入していたことがあります。生徒は入学から卒業まで 1 人 1 台タブレット端末を持っていて、授業の中で調べものをしたり課題を共有したりしています。今回、休校という異例の事態を受けて導入された遠隔授業ですが、学校は今後もさまざまな非常事態を想定し活用の幅を広げていく方針です。

「災害などでも(学校で)学習できない状況になったときどこにいても何をしても学習できる場面を学校側が設定できると思うので(遠隔授業を)活用できたらと思います。」

[https://www.kutv.co.jp/evening\\_kochi/evening\\_kochi-232755/](https://www.kutv.co.jp/evening_kochi/evening_kochi-232755/)

同校は MOIS より 1 年早く開校した IB の MYP 候補校です。私を含めて何人かの MOIS の先生が視察に行ったこともあり、高知からは校長先生が昨年 MOIS にいらっしゃいました。2 年前から教材や指導方法を交換したり共有したりして、協力関係も築いています。

今回は、さすが MOIS の先輩！いち早く遠隔授業を実施しました。でも、MOIS でも先生方が皆さんの自宅学習をオンラインで支援する工夫を準備しています。今は一人で(制服を着て)取り組んでいる自宅学習に変化をもたらせるまで、もう少し待っていてください。

「でもウチは自宅でインターネットにつながる設備(パソコンと高速インターネット回線)が弱いんだよなあ。」という人は、メールで相談を寄せてください。

逆に、自分はこんな工夫や取組をしているという人は、一昨日の武石先生による紹介に続いて皆さんに紹介していきたいので、その工夫や取組をドシドシ寄せてください。

みんな、MOIS の一員だからね。今日も一日、がんばりましょう！

校長 関田 晃